

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公表番号】特表 2006-528006 (P2006-528006A)  
 【公表日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-049  
 【出願番号】特願 2006-520630 (P2006-520630)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 M 1/12 (2006.01)**

**A 6 1 B 5/0215 (2006.01)**

**A 6 1 M 1/10 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 M 1/12

A 6 1 B 5/02 3 3 1 A

A 6 1 M 1/10 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血液を輸送する管状体の外側表面に接触するように位置するカフと、該カフ内に封入された血圧を測定する少なくとも 1 つのセンサとを含み、

上記カフがカニューレ内に一体化されて形成されている、埋め込み型装置。

【請求項 2】

上記埋め込み型装置が、患者の循環器系内で血流または血圧を閉塞したり、または上記血流または血圧に悪影響を与えたりしない、請求項 1 に記載の埋め込み型装置。

【請求項 3】

上記埋め込み型装置が、少なくとも 2 つのセンサを含み、

該センサが上記管状体に対して軸方向に一系列に並んでいる、請求項 1 に記載の埋め込み型装置。

【請求項 4】

上記埋め込み型装置が、少なくとも 2 つのセンサを含み、

該センサが上記管状体に対して半径方向に一系列に並んでいる、請求項 1 に記載の埋め込み型装置。

【請求項 5】

上記埋め込み型装置が、上記血圧の変化から心臓のポンプ状態を判断するコントローラに接続されている、請求項 1 に記載の埋め込み型装置。

【請求項 6】

上記カフがシリコン、ペロア、またはダクロン（登録商標）を含む、請求項 1 に記載の埋め込み型装置。

【請求項 7】

上記埋め込み型装置が血液ポンプと協調して動作する、請求項 6 に記載の埋め込み型装置。

【請求項 8】

上記血圧が、上記血液ポンプのポンプ速度を制御するためのフィードバック機構で使用され、

上記フィードバック機構がコントローラを含んでいる、請求項 1 に記載の埋め込み型装置。

【請求項 9】

上記コントローラが、上記埋め込み型血液ポンプによる過少供給または過大供給を最低限とするように、ポンプ速度を調節する、請求項 8 に記載の装置。